

令和6年三重県議会定例会

医療保健子ども福祉病院常任委員会

説明資料

【所管事項説明】

- 1 県立病院の取組状況について

頁

1

令和6年12月11日
病院事業庁

【所管事項説明】

1 県立病院の取組状況について

病院事業庁では、県立病院に求められる役割・機能等を十分にふまえつつ、国および本県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が県民の皆さんに医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、「三重県病院事業 中期経営計画」を策定し、各取組を進めています。

令和6年度の主要な取組の状況は、次のとおりです。

(※令和6年度実績値は10月末までの数値です。)

こころの医療センター

本県における精神科医療の中核病院として、精神科救急・急性期医療等の政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療等の専門的医療の提供、訪問看護やデイケア等の地域生活支援、精神分野における災害医療などに取り組んでいます。

(1) 精神科救急・急性期医療の提供

「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外等の救急患者・緊急対応患者を積極的に受け入れています(264件)。また、保健所からの要請による措置診察(37件)にも速やかに対応しています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10月末実績
精神科救急患者・緊急対応患者受入件数(件)	488	460	264

(2) 専門的医療の提供

① 認知症治療

認知症治療の充実を図るため、脳神経内科専門医とともに多職種が連携し、もの忘れ専門外来(週3日、延べ988人)や専門病棟を中心に治療(入院30.0人/日)を提供しています。

入院患者数の増に向けて、経営改善プロジェクトの取組により、行政機関・地域包括支援センター・介護施設・病院・クリニックとの連携強化を進めています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10月末実績
認知症入院患者数(人/日)	32.5	40.0	30.0

② 依存症治療

アルコール依存症治療においては、専門性の高いプログラムを用いた入院治療等(入院19.5人/日、外来延べ1,880人)を提供しました。また、ギャンブル依存症治療においては、全6回(月1回)からなる回復プログラム(集団プログラム)を運用しています(令和3年10月～)。

【所管事項説明】

入院患者数の増に向けて、経営改善プロジェクトの取組により、産業医・保健所・クリニック等関係機関への働きかけ、アルコール依存症病棟の入院体制の改善・検討や広報活動の強化を進めています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
アルコール依存症入院患者数（人/日）	21.7	30.0	19.5

③若年層への支援と早期介入・早期予防

院内に設置しているユース・メンタルサポートセンター（YMSC）MIEにおいて、若年層やその家族等からの相談（新規139件）に対応するとともに、学生、教員、保護者や関係機関を対象に研修会（14回）を実施しています。

また、子ども心身発達医療センターとは、患者受入れに係る定期的な連携会議の開催などにより、さらなる連携の強化を進めています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
YMSC新規相談件数（件）	223	200	139

（3）地域生活を支えるための支援

①デイケアサービス

多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供し、利用者の日常生活や就労面の支援を行うとともに、若者のニーズに対応したプログラムの充実に取り組んでいます。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
デイケア・ショートケア延べ患者数（人）	9,483	12,500	5,665

②訪問看護サービス

入院医療中心から地域生活中心へという国の精神科医療における方向性の中で、精神疾患を有する患者が地域で安心して暮らすことができるよう、積極的に訪問看護サービスを提供しています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
訪問看護延べ患者数（人）	3,803	5,000	2,226

③入院患者の退院支援

関係機関と十分に連携し、患者の症状や生活環境等に応じた適切な退院支援を行うとともに、多職種が連携し、クリニカルパスなどを活用しながら、病状に応じた適切な治療を行い、早期再入院の防止に取り組んでいます。

【所管事項説明】

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
在院3か月以内退院率 (%)	79.4	77.6	82.8

④家族支援の充実

治療中の患者家族等を対象とした研修会の開催や電話・面談等による相談支援を行うとともに、未治療や治療中断等の状況にある患者を治療につなげるためには、患者と家族の円滑な関係性が重要であることから、家族等に対するコミュニケーションスキルの向上支援として、認知症家族教室（5回）、アルコール家族研修会（7回）、家族向けプログラムCRAFT*（3回）を行っています。

※Community Reinforcement And Family Trainingの略。患者を取り巻くコミュニティ（環境）の強化や家族のコミュニケーションスキルを向上させるトレーニング等を通じて、患者が自ら治療を受け入れやすくなるような環境づくりを支援するプログラム

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
家族等にむけた研修会の開催件数 (件)	24	24	15

(4) 入院・外来診療

入院診療では、機能別に、精神科スーパー救急病棟や精神科急性期治療病棟、アルコール依存症治療病棟、認知症疾患治療病棟、ハイケア病棟、リハビリ病棟、令和6年2月から運用を開始したAYA世代（思春期・若年層）病棟の7つの病棟で、それぞれの医療ニーズに応じた治療を行っています。

外来診療では、一般精神科外来のほか、アルコール外来、もの忘れ外来、セカンドオピニオンの専門外来を設置して診療を行っています。

地域の病院・診療所との連携強化や若年層の精神疾患に対する取組強化等による入院・外来患者数の確保に努めています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
1日平均入院患者数 (人/日)	203.7	230.0	199.1
1日平均外来患者数 (人/日)	180.8	200.0	175.0

【所管事項説明】

一 志 病 院

総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケア人材の育成のほか、予防医療の提供や津市白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携などに取り組んでいます。

(1) 地域医療の推進

①在宅療養支援

地域の幅広い医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、通院が困難な患者に対して、訪問診療（延べ356人）、訪問看護（延べ1,675人）、訪問リハビリテーション（延べ232人）等の在宅療養支援に積極的に取り組んでいます。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
訪問診療、訪問看護等延べ患者数（人）	4,147	4,700	2,274

②予防医療

住民健診（308人）、人間ドック（60人）、がん検診（244人）、特定保健指導（3人）等の予防医療に取り組んでいます。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
住民健診、人間ドック、がん検診、特定保健指導受診者数（人）	973	1,200	615

③救急医療

初期救急医療を担う医療機関として24時間365日の救急受入体制のもと、救急ホットライン（消防から医師への直通電話）や外来ホットライン（診療所等から日当直看護師への直通電話）も活用しながら、救急患者を受け入れています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
救急患者受入件数（件）	680	750	309

④関係機関との連携

地域の関係機関や多職種が参加する美杉・白山・一志保健医療福祉連携会議や出前講座等の取組を通じて多職種連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの構築を支援しています。

また、地域医療の確保や地域包括ケアシステムの構築などについて、引き続き、津市や県医療保健部と協議を行っています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
多職種連携による取組件数（件）	18	15	11

【所管事項説明】

(2) 人材育成の充実

①地域医療を担う医師の育成

総合診療医の育成拠点として、医学生（延べ290人）を受け入れ、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を提供しています。また、みえ地域医療メディカルスクールにおいて高校生（22人）を受け入れ、地域医療の魅力を体験できる場を提供しています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
研修医・医学生受入延べ人数（人）	427	500	312

②看護実習生等の受入れ

地域の高校生や看護・介護の実習生を積極的に受け入れ、関係機関と密接に連携して実践的な研修を行うことにより、地域に貢献できる人材の育成を支援しています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
看護実習生等受入延べ人数（人）	336	350	177

③プライマリ・ケアセンターの運営

県から委託を受けて開設した「三重県プライマリ・ケアセンター」において、多職種連携による実践的なスキルを習得するための教育・研修の実施や研修会の開催、情報発信等を行っています。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
プライマリ・ケア研修会開催件数（件）	3	3	1

(3) 入院・外来診療

地域の診療所等との連携強化や良質な医療サービスの提供を通じて、入院・外来患者数の確保に努めています。

令和5年10月から運用している地域包括ケア病床を積極的に活用し、退院後の生活を見据えたリハビリテーションなど、在宅復帰支援に取り組むとともに、令和6年1月から整形外科外来を再開しています（週1回）。

目標項目	R5 実績	R6 目標	R6.10 月末実績
1日平均入院患者数（人/日）	33.4	36.0	30.2
1日平均外来患者数（人/日）	55.0	61.0	52.3

志摩病院

志摩地域の中核病院として、地域医療支援病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院など、求められる役割・機能を発揮し、救急医療の提供のほか、地域の医療機関との連携強化・機能分化を図りながら入院・外来診療を行うなど、指定管理者と連携しながら診療機能の維持および充実に取り組んでいます。

(1) 地域医療の推進

①入院診療

一般病棟（急性期病棟、地域包括ケア病棟）および精神病棟を運用して多様な医療ニーズに対応しています。

一般病棟では、地域の診療所等からの紹介患者や救急患者の受入れを行うほか、リハビリテーション等の在宅復帰支援を提供しています。また、令和6年10月からは新たに心臓カテーテル検査、手術等に取り組んでいます。

精神科病棟では、地域において精神科を設置する唯一の病院として、一般病床を併設している特徴を活かして身体合併症のある患者の受入れを行っています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
1日平均入院患者数（人/日）	169.2	180.0	165.0

②外来診療

地域医療支援病院として、患者の紹介・逆紹介、医療機器の共同利用など、病診連携や病病連携を強化して外来診療を提供しています。また、幅広い疾患の患者の受入れと診療科間の連携を緊密にした診療を行っています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
1日平均外来患者数（人/日）	247.6	262.0	237.6

③救急医療等

内科系救急では、24時間365日の患者受入体制を維持し、積極的に患者を受け入れています。外科系救急では、医師の退職に伴い令和6年4月から受入可能な時間帯を一部縮小しています（昼間(8時30分～17時)および平日準夜間(17時～22時30分)の受入れから、昼間および月、木、金曜日の準夜間へ変更)が、非常勤医師の確保により、同年6月には水曜日の準夜間の受入れを再開しています。

目標項目	R5実績	R6目標	R6.10月末実績
1か月平均救急患者数（人/月）	358.2	362.0	337.7